

事務事業名	市長・市議会議員選挙	所属部	選挙管理委員会	所属課	選挙管理委員会事務局				
総合計画体系	政策名	政策外	所属G	—	課長名	鐘撞 征司			
	施策名	施策外	担当者名	祝原 志郎	電話番号	0854-40-1090			
	目的: 対象	意図	予算科目	会計	款	大事業	大事業	市長・市議会議員選挙	
	基本事業名	議会、監査委員会、公平委員会、選挙	0:1	1:0	0:2	2:0	3:0	0:1	中事業
目的: 対象	意図								

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
任期満了に伴う雲南市長選挙及び雲南市議会議員一般選挙に関する立候補届出受付事務、期日前投票事務、当日投開事務、開票事務等を行った。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R2年度実績 (R2年度に行った主な活動)	R3年度計画 (R3年度に計画する主な活動)			
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 選挙運動用交付物の準備 ○ 立候補届出の受付 ○ 選挙公報の発行 ○ 期日前投票所の設置及び運営 ○ 当日投票所の設置及び運営 ○ 開票所の設置及び運営 ○ 選挙運動費用公費負担に係る事務 ○ 投開票事務等執行経費の支出等 	なし			
	② 活動指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
	ア 期日前投票期間	日			7	
	イ 投票所数	箇所			38	
	ウ ポスター掲示場設置数	箇所			236	
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
	住民	ア 有権者数	人			31,880	
		イ					
		ウ					
② 意図 (対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)	
投票率の向上	ア 投票率の向上	%			75.29		
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)
投票管理者・会計年度任用職員等報酬 3,766千円	事業費内訳	国庫支出金	千円			
ポスター掲示場作製・回収業務 3,652千円		県支出金	千円			
ポスター掲示場設置・撤去・管理業務 5,712千円		地方債	千円			
投票用紙、選挙公報等印刷費 2,579千円		その他	千円			
入場券郵送等通信運搬費 2,091千円		一般財源	千円			33,963
選挙運動用ハガキ公費負担 2,257千円		事業費計 (A)	千円			33,963
投票箱送致、移動支援経費 673千円		正規職員従事人数	人			5
選挙運動費用公費負担 9,425千円		延べ業務時間	時間			1,205
選挙機器点検料、事務消耗品代等 3,808千円		人件費計 (B)	千円			5,071
【参考】投票事務等職員人件費 12,101千円		トータルコスト(A)+(B)	千円			39,034

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
<ul style="list-style-type: none"> ・後見人選挙権の回復 ・選挙権年齢の引き下げ(18歳) ・投票所開閉時間の弾力化 	<ul style="list-style-type: none"> ・機器の購入等による投開票事務の効率化及び迅速で正確な事務の遂行 ・選挙事務に係る人員の削減 ・市議会議員一般選挙における選挙運動用ビラの公費負担について条例改正により制度化を行った。 ・入場券裏面への期日前投票宣誓書様式の記載 ・音声版選挙広報の発行 	期日前投票環境の改善(出張期日前投票所の設置)

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
C 効率性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	投開票事務のスリム化や人件費の削減を図る。(ただし、新型コロナウイルス感染症対応においては、人員が必要となる。)また、選挙機器の購入費については、一般財源対応が必要となるので、計画的に機器を更新する必要がある。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 投票所統廃合未実施の地区が数箇所あるので、地元協議・調整を行い、実施する。 投開票事務のスリム化を行い、経費の削減を行う必要がある。	② 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		